

トヨタ自動車投資発表に際しての山田大使メッセージ

2015年4月15日

在メキシコ日本大使館

本4月15日、トヨタ自動車（株）は、約10億ドルを投じ、年間生産能20万台規模の新工場をメキシコ・グアナファト州に建設する旨を発表しました。

近年、メキシコの中央高原地帯（バヒオ地域）を中心に、多くの日本の自動車関連企業がメキシコに進出してきており、雇用の創出、技術移転、人材育成などの形でメキシコ経済に貢献しています。

既に進出している日本の自動車関連企業と同様に、トヨタも、世界最先端の技術、雇用の創出、「カイゼン」の言葉で知られる高い生産性により、地域社会、メキシコ社会全体に貢献することを期待します。また、同時にグアナファト州、メキシコ国民の皆様が、トヨタを新しい家族、友人として迎えてくださることを、お願いしたいと思います。

近年、日墨経済関係は目覚ましい速度で発展をしていますが、このたびの新規投資は、日本企業のメキシコへの信頼の証しとして、これを一層加速させるものと歓迎します。